

議会だより そとがはま

第80号

令和7年3月定例会

外ヶ浜町議会公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp/gyosei/gikai/>



シリーズ「まちの頑張りの人」②

有限会社マツオスーパー石岡明沙実さん

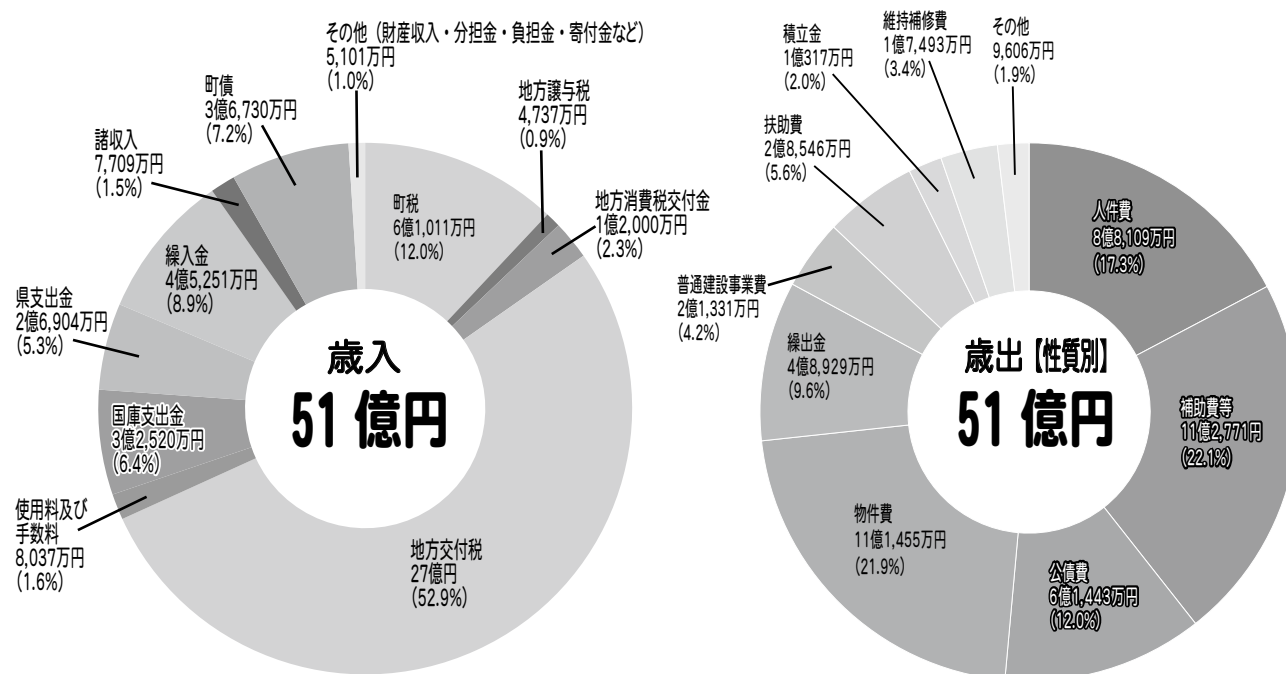
目次

○第156回3月定例会／2～9ページ
○一般質問：5議員が登壇／10～15ページ
○令和6年度採決結果／16ページ

○委員会改選／17ページ
○第155回臨時会／18ページ
○議員活動報告／19ページ
○まちの頑張りの人②／20ページ

一般会計予算51億円

一般会計予算の内訳



令和7年度一般会計歳出の主なもの

蟹田・脇野沢航路新船建造事業費負担金	1億143万円
給食業務等委託料 (給食費無償化)	4,115万円
道路舗装補修工事 (蟹田大平線)	3,550万円
橋梁補修工事 (黒岩橋)	2,950万円
蟹田中学校体育館暖房設備更新工事	2,568万円
各種予防接種事業 (新型コロナ・インフルエンザ・带状疱疹等)	2,010万円
ため池廃止設計等業務委託・工事 (館ノ沢ため池)	1,050万円
トップマスト改修工事	1,038万円
ホタテ貝採苗対策事業費補助金	988万円
地域おこし協力隊業務管理委託料	580万円
空き家等解体支援補助金	500万円
空き家等リフォーム補助金	500万円
住宅リフォーム支援事業補助金	200万円



蟹田上小国地区のしめ縄づくり

少子高齢化や人口減少、物価対策などが全国的に問題となっています。当町においても状況は同じであり、その他にもさまざまな課題・難題が山積しています。

これらの問題の解決に向けて、今定例会では、令和7年度の重点施策と目玉施策として、次の5点について町から示されました。

- ① 外ヶ浜中央病院の医療体制の充実
- ② 子育てや医療・福祉の充実
- ③ 強い一次産業育成への投資
- ④ 防災・利便性を両立した交通網の整備
- ⑤ 移住・定住政策

町では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して笑顔で暮らせる持続可能な町づくりの実現に向けて総合的に取り組んでいくとしており、行政と一緒にやり議会もその実現に向けてまい進してまいります。



風のまちこども園

第156回定例会は、3月5日から12日までの8日間の日程で開催し、令和7年度各当初予算案、令和6年度各補正予算案などを可決しました。

令和7年度の目玉施策は
笑顔で暮らせる町づくり



移住・交流応援ブックで
子育て支援事業をアピール

問 横山拓雄議員
この事業により、子ども園から中学校まで一貫して給食費無償化となった。今後、移住・定住者を増やす観点から、通学定期の無償化の検討していただくことで、子育てしやすい外ヶ浜町をア

保育所等主食費 助成金

答 学務課長
今年度は従来どおり現状の3割助成で計上している。来年度予算案については、子育て関連の事業を様々展開している中で、現状のままの3割助成ということでは理解いただきたい。

ピールできるものと考え
るがそのような計画があるのか。

観光振興対策は

問 浜谷恭市議員
今回の観光費の8400万円のうち、6400万円が町の金である一般財源である。我が町ではホタテやマツカワガレイなどを売りに観光事業に対し戦略を考えていく必要があると思う。そのような中、観光費がほぼ町の財源でやりくりしている現状はまずいのではないかと。国、県の補助事業を活用し観光事業につなげていくべきだと考えるが、県の事業に明るい副町長に伺う。

答 副町長
国の事業で公園関係の補助金がある。その辺の情報収集をしながら補助金獲得に向け努力していくことが必要だと思うので、今後も頑張ってもらいたい。



たっぴ鮮魚市は大盛況

一般会計

リフォーム補助金

問 安藤英博議員
今回新しく空き家等リフォーム補助金について、1件当たり50万円、500万円の予算を見ている。リフォームをすること、町外からの移住者受け入れの拡充が可能となることから、予算を増やしていくことが必要と思うが、どのような運用を考えているか。また、リフォーム補助金のPR方法はどのように考えているか。

答 企画政策課長
予算については、状況を必要に応じて補正することも検討している。

る。PR方法については、ターゲットを誰にするのが大事であると考えており、町内向けには広報紙への掲載、町外向けにはホームページへの掲載のほか、SNSなどへの掲載など各種デジタルコンテンツを活用して広報活動していきたい。

再質問

再質問 移住希望者が町営住宅の入居を希望しても、所得制限で入居できないという話を聞く。収入の制限によりこの状況についてどう考えているか。

答 建設課長
町営住宅の入居については所得に応じた対応となるため入居は難しいと考えるが、所得が無くなった後で定住することもあり得ることから、所得状況を見ながら町営住宅への入居について検討をしていきたい。



補助金を活用して外壁をリフォーム

再質問 石岡勉強員
高校卒業まで保
陰税を賦課しない方が、
子育てしやすい町として
我が町のPRになると思

答 住民課長
未就学児の保険料の歳入の減は21万円くらいの減を見込んでいる。高校卒業まで拡大した場合約50万円ほど増えて、合計70万円くらいの歳入の減となる。

問 石岡勉強議員
令和6年度では未就学児には均等割を賦課しなかったが、その減収額はいくらか。また、高校卒業まで賦課しないとなると、いくらの減収となるのか。

**国民健康保険
特別会計**

高校卒業まで国保 税の減額を

再質問 安藤英博議員
4月から常勤医師が1名増となるが、ベ

答 病院事務局長
常勤医師の減少に伴い稼働しているベッドはい稼働しているベッドはい稼働しているが、患者数が稼働しているベッドをオーバーして他の医療機関に移送した事例はない。

問 安藤英博議員
入院ベッド数が32床
となっているが、入院
ベッド数が不足して町外
の病院へ紹介するなどの
事例はあったか。

病院事業会計

町長 現時点では考えていないが、今後の状況を見て検討したい。

答 建設課長
当町の下水管は耐用年数内という事もあり、目視で道路の陥没箇所が発見された場合についてのみ対応する。

問 山口佳子議員
埼玉県八潮市での下水道破損などが原因とみられる道路陥没事故を受けて、当町の下水管も調査すべきと考えるが。

下水道事業会計

町の下水道は大丈夫か

答 ツド数を増やすのか。
病院事務局長
許可されているベッ
ド数が44床、そのうち32
床で稼働する。令和6年
度は28床だったので4床
増やしている。

町の下水道のマンホールの蓋



蟹田地区に宴会場を

問 福井洋一議員
外ヶ浜町の中心地区の蟹田地区に50人程度の会食、宴会ができる場所がなくなったことをどう考えているか。また、今後蟹田地区にそういう場所、施設を建設していく考えがないのか。

答 町長 大人数というところ
で町内でも意見を集約し
ており、接客することが
できれば、示していきた
い。

再質問 福井洋一議員
井ものからラーメンを始めとする会食・宴会ができる施設は必要である。全国一位の給食など、町の名物料理を提供し、観光の起爆剤として考えてほしいと考えるが。

答 町長
丸八食堂のラーメンの味を引き継いでほしい、学校給食で全国一位を取ったメニューを食べられる場所という話もあったのであるべく形になるような方法を探していきたい。

港まつり会場に
簡易トイレ設置を

問 山口佳子議員
港まつり会場に簡易トイレの設置を計画しているか。

答 産業観光課長
港まつり補助金を昨年度より30万円を増額し、230万円とした。その増額分を港まつり会場の簡易トイレの設置レンタル料として充てることとしている。



「外ヶ浜町出産祝金条例の一部を改正する条例案」 ほか13件の条例案を可決しました

**条例
PICKUP**

「外ヶ浜町出産祝金条例」

1人目のお子さんが産まれたとき、2人目のお子さんが産まれたときに10万円が支給されます。

	第一子	第二子	第三子以降
これまででは…	5万円	5万円	10万円
条例改正後→	10万円	10万円	10万円

議員発議

議員改革特別委員 会の設置

全会一致で可決

3月定例会において、「外ヶ浜町議会改革特別委員会」の設置について

発議があり、全会一致で可決されました。

当委員会は議員全員をもって構成され、委員長に戒修議員が、副委員長に石岡勉議員がそれぞれ互選されました。

当委員会は、より一層、町民の負託に応えるため、また、民主政治の発展に

人事案件

◎人権擁護委員
人権擁護委員を務めてきた松山義幸氏の辞任により、木浪善光氏を適任と答申した。

専決処分

◎報告第1号
（令和6年度外ヶ浜町一般会計補正予算の専決）
1月下旬から2月中旬にかけての断続的な降雪に伴い、除排雪作業が例年より増加し、管内除雪委託料の不足が見込まれるなど、緊急に予算措置を要したため。

質疑応答

一般会計補正予算

蟹田体育館の雨漏り改修は

問 石岡勉議員
蟹田体育館の雨漏りが非常に激しくなり、使用する方々からの苦情が多くなっている。今回の

答 社会教育課長
蟹田体育館の雨漏りは、昨年よりひどくなっている。雪解け後、屋根の状況を調査し修理の検討をしたい。

再質問 蟹田体育館は利用者が多いので、優先して調査をすべきで、財政面でも早期に対応し、利用者が安全に利用できる

補正予算及び新年度の予算にも改修費が出ていないがどうするのか。

答 総務課長
調査した結果に依じて補正対応を検討していきたい。

物価高騰対策 事業費

問 安藤英博議員
過年度分の返還金の内容及び今年度分の使い道は。

答 企画政策課長
過年度分の返還金については、昨年度の交付金で低所得者への給付金の余った分。今年度分は、早い段階で使い道を検討したい。

再質問 課税世帯への給付支援を実施した町村があるが、当町では課税世帯への支援はないのか。

答 このことについては実施方法を含めて課題としたい。

出産祝金条例

出産祝金、第三子以降も増額を

問 横山拓雄議員
出産祝金が5万円から10万円となり、子育て世代に対して有用な支援となるが、これは第一子からなのか。

答 福祉課長
第一子、第二子ともに10万円に上がるという

再質問 横山拓雄議員
少子高齢化が著しい当町において、子育てに対する支援策として第三子以降も増額するべきでは。

答 福祉課長
第三子以降は、出生児、小学校入学時、中学校入学時に10万円ずつ給付しており、今のところは、このまま継続していきたいと考えている。



ことで理解いただきたい。

町民の声を届ける！

◆◆◆ 一般質問 5人の議員が登壇 ◆◆◆



柳谷 隆男 議員 (11 年)

【質問事項】

- 令和7年度の重点施策は
- 令和7年度の医療提供体制と新病院建設について



安藤 英博 議員 (12 年)

【質問事項】

- 3期目をめざす山崎町長の公約について
- 役場若手職員の地域担当職員制度について
- 訪問介護事業所と増える孤独死対策について



山口 佳子 議員 (13 年)

【質問事項】

- 外国人労働者受け入れのための環境整備について
- 带状疱疹ワクチン定期接種化に向けた取り組みについて



福井 洋一 議員 (14 年)

【質問事項】

- これからの外ヶ浜町の青写真は
- 1次産業の具体的な育成政策は



横山 拓雄 議員 (15 年)

【質問事項】

- 夜間・休日の行政・病院の対応について
- 外国人労働者雇用について



柳谷隆男議員

令和7年度の重点
施策は

問 町の財政は、基金を
取り崩して補わなけ
ればならない厳しい状況
だが、令和7年度の重点
施策を伺う。

答 町長
一つ目が、外ヶ浜中
央病院の医療体制の充実
である。次年度から常勤
医師が1名増えることで
日中、軽度の患者を受け
入れられる。

二つ目が、子育てや医
療・福祉の充実である。
高校卒業までの医療費無
償化、高校生の通学定期
助成、妊産婦・不妊治療
者への交通費助成、出産
祝い金を第一子からに変

更、带状疱疹ワクチン予
防接種の助成、歯周病検
診の対象者拡大、新生活
準備応援助成金、卒業ア
ルバム作成費助成金を新
設する。

三つ目、強い一次産業
への投資である。長く一
次産業育成を続けていけ
るよう、被害が出たホタ
テ漁業者に助成金を支給
作り育てる漁業を継続す
る。また、機械化、法人化
DX化等を後押しする取
り組みについて検討する。
四つ目、防災・利便性
を両立した交通網の整備
で、津軽線廃線後の交通
を確保する。ここで重要
なのは、小国峠の平たん
化、トンネル化で、引き
続き要望する。
五つ目、移住・定住対

策で、空き家等リフォー
ム補助金を新設。
この他、公共施設のL
ED化事業やゼロカーボ
ン実行計画策定にも取り
組む。

新病院建設に向け
踏み込んで

問 常勤医師が4月1日
から1名採用され4
名体制になることで、新
病院建設に向けて一歩踏
み込んで行く時期がきた
のではないか。

答 町長
二次救急医療を担う
救急車を受入れる新たな
外ヶ浜中央病院を念頭に
置き、令和7年度におい
て新築場所の選定作業を
再開する。

令和7年の重点施策は

■答弁▼一に病院の医療体制の充実



一般質問



安藤英博議員

訪問介護事業所の休止は

問 三厩地区の事業所が休止により空白地になり、高齢者が自宅で暮らし続けられなくなるのとが心配される。現在、平館・蟹田地域は外ヶ浜町社会福祉協議会が介護サービスを行っているが、三厩地区でも実施できないものか。

答 町長 町内の訪問介護事業所は1事業所であり、三厩地区は令和4年6月に廃止となっている。当時のサービス利用者数は32名である。現在は町外の事業者へ引き継いで対応している。

三厩地区訪問介護事業の休止の対策は

■答弁▼要介護者になっても重要なサービス

報道されている。町としてどのような対策対応をしてきたのか。

答 町長 全国的に事業者の経営やサービス提供に与える影響が懸念されていることは承知している。要介護の状態になっても住み慣れた自宅での生活を継続していくためにも欠かすことのできない重要なサービスであると認識している。

役場若手職員の地域担当職員制度を

問 若い職員に地域を担当してもらい、地域活動や住民との話し合いなどで地区を活性化させていくためにも大事な制度である。町としてぜひ実施できないか。

答 町長 職員が地域の担当者として地域住民とともに地域の課題解決を図る制度と考えている。

再質問 若い職員が将来に向けて大きく成長していくためにも、地域住民と繋がることが必要であり、地域の実情をつかむことで地域の町民のことに何でも相談でき対応できる。青森県内で実施している市町村の数と事例について答弁を求める。

答 町長 県内3市で、町では南部町でこの制度を実施している。

再質問

これまで三厩地区を担当していた事業者が休止せざるを得なかった原因は、政府が訪問介護基本報酬を2

024年4月から2.3パーセント引き下げたことが大きな原因であり、全国で多くの事業所が廃業し消滅になっていると



山口佳子議員

外国人労働者受け入れの環境整備を

問① 少子高齢化による町の最大の課題である。その結果、地元企業では人手不足が起こっており、それを補うために外国人労働者を受け入れる企業が増えている。今後、外国人材の受け入れは、町の人口減少という課題を補う施策のひとつとして視野に入れ、取り組みが必要ではないか。

答 企画政策課長 当町の現時点の取り組みでは、「居住支援をしてほしい」との要望に応えるため、町営住宅（定住住宅）や公営住宅を提供している。また、「空

外国人労働者の環境整備を

■答弁▼企業、行政、地域の課題を調査する

「带状疱疹ワクチン」定期接種化に向けた取り組みは

問 带状疱疹ワクチンについて、国は65歳の人を対象に定期接種化することに決定したが、带状疱疹は50歳代から発症率が高くなることから、

答 町長 働き盛りの50歳から助成をすべきと考えるが。55歳、60歳を迎える方も対象にする計画をしている。また、带状疱疹ワクチンは2種類あり、生ワクチンは1回接種で5千円を、不活性化ワクチンは2回接種が必要で1回1万円を上限に助成する。



き家リフォーム助成金」や「空き家バンク」などもある。日常生活の支援は、今後検討する。

問② 外国人も外ヶ浜町で暮らす町民として、安心して働き、住み続けられるように、多文

化共生の地域づくりを推進する必要があると考えるが。

答 町長 企業、地域、行政の課題をまとめる必要があるので、今後、関係各位の協力を得たい。



一般質問



町の新たな政策は

問① 女性目線での新たな政策があるのか。これからの外ヶ浜町の青写真をどのように描いていくのか。

答 町長

男女平等を基本とする政策。女性の安全を確保する政策。女性の活躍を推進する政策。今後、一次産業の機械化や法人化が進み地元にも一人でも残って働くことは、将来の選択肢の一つにもなる。今後も、女性が働きやすく、活躍できる環境づくりを目指し、町民の声に耳を傾けていく。

再質問

公園、町道の整備、草刈りなどを徹底することや、公設

これからの外ヶ浜町の青写真は

■答弁▼女性が働きやすく、活躍できる環境を

一次産業の具体的な育成政策は

問① 町の重点政策として、一次産業（農業・漁業）の育成を上げている。これまでの政策を単に継続するだけなのか、具体的に新たな政策を行う考えはあるのか。

答 町長

担い手確保、リーダー及び後継者の育成、プラン化、安定的な収入の確保に向けて取り組んでいく。

問② ホタテ漁業者が使っている水域网の漁場以外の漁場で振興策を。

答 町長

魚介類の放流事業、養殖事業、漁港内での魚介類養殖による雇用の創出、にぎわいの場の創出に向けた漁港づくり、若手への技術継承講習会の検討など、漁場を中心とした地域の活性化を図っていく。



防災無線放送とLINE

問① 防災無線放送の聞き取りづらさへの対応は。

答 町長

令和5年に防災無線の聞こえ方に関するアン

問② 町公式LINEに夜間・休日の防災無線放送の情報を投稿できていないが、今後、連動させるような計画はあるのか。

答 総務課長

LINEメッセージに防災無線と連動して発信できるシステムはあるが、経費の問題から、現在は手作業で入力している。補助金の活用を含め、効果的な情報発信を考えていく。

るのか。

再質問

なく、3町村議会も一緒に行政側と合わせて要望していただきたい。

再質問

入やオンライン診療所の設置等、誰ひとり取り残されないための取り組みとして整備していく必要があるのでは。

答

中央病院事務長

外国人労働者の雇用は

問 労働力の維持、生産性向上に伴う外国人労働者の受入れは、当町

答 町長

事業者からの相談を受けた時に、定住促進住宅に空きがあり、特段の問題がないと判断した場合は、外国人労働者の受入れを許可している。また、町の空き家バンクの登録物件紹介、空き家等有効活用していただけるものと考えているが、外国人労働者の受入れは事業者判断であり、住居も事業者が準備することが基本と考える。また、外国人労働者に頼らなくても、日本人の方も働きやすくなるような環境整備も優先して考えていきたい。

一般質問



防災無線

答

中央病院事務長

問

町民の方から夜間・休日の救急外来の再開が願われている中で、医師確保を含めた外ヶ浜中央病院の計画を今別町、蓬田村と一丸となって県に要望していく必要があるのでは。

3町村行政のみでは

●定数は6人	委員長 戎 修				
	山 口 佳 子	副委員長 横 山 拓 雄	委 員 柳 谷 隆 男	安 藤 英 博	鈴 木 進

総務文教常任委員会



総務文教常任委員長 戎 修

●定数は5人	委員長 石 岡 勉				
	浜 谷 恭 市	副委員長 福 井 洋 一	委 員 木 浪 昭	三 上 満	議 長 は オ ブ ザ ー バ ー

産業建設常任委員会



産業建設常任委員長 石 岡 勉

●定数は7人	委員長 浜 谷 恭 市				
	福 井 洋 一	副委員長 横 山 拓 雄	委 員 山 口 佳 子	戎 勉 修	三 上 満

議会運営委員会



議会運営委員長 浜 谷 恭 市

●定数は7人	委員長 福 井 洋 一				
	横 山 拓 雄	副委員長 山 口 佳 子	委 員 柳 谷 隆 男	浜 谷 恭 市	三 上 満

特別委員会



議会広報特別委員長 福 井 洋 一

●定数は11人 (議員全員)	委員長 戎 修				
	石 岡 勉	副委員長 横 山 拓 雄	委 員 山 口 佳 子	柳 谷 隆 男	福 井 洋 一

特別委員会



議会改革特別委員長 戎 修

3月定例会において、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の改選があり、新たに議会改革特別委員会が設置されました。
任期は令和7年4月1日から議員任期満了日までです。

常任委員会の改選と議会改革特別委員会の設置

採 決 結 果

令和6年度（4月～3月まで）に審議された起立採決時の採決結果を公表します。
○＝賛成 ●＝反対 議長（鈴木 進）は、賛否が同数の場合のみ議長採決。

各定例会	提出議案	議 員 名											
		横 山 拓 雄	山 口 佳 子	柳 谷 隆 男	福 井 洋 一	浜 谷 恭 市	木 浪 昭	戎 勉 修	石 岡 勉	安 藤 英 博	三 上 満	鈴 木 進	
第150回 定例会（6月）	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	採 択
	外ヶ浜町長・町議会議員選挙での選挙公報の発行に関する条例の制定を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	資 料 配 付
	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	可 決
第152回 定例会（9月）	令和5年度外ヶ浜町一般会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認 定
	令和5年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—	認 定
	令和5年度外ヶ浜町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	認 定
	令和5年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	認 定
	外ヶ浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	可 決
第154回 定例会（12月）	外ヶ浜議会委員会条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
第156回 定例会（3月）	令和7年度外ヶ浜町一般会計予算案	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	令和7年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計予算案	○	○	欠	欠	○	○	○	●	●	○	—	可 決
	令和7年度外ヶ浜町介護保険特別会計予算案	○	○	欠	欠	○	○	○	●	●	○	—	可 決
	令和7年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計予算案	○	○	欠	欠	○	○	○	○	●	○	—	可 決
	令和7年度外ヶ浜町病院事業会計予算案	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	外ヶ浜町議会改革特別委員会の設置について	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	外ヶ浜町議会傍聴規則の一部改正について	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	—	可 決



挨拶をする鈴木進議長



当局より説明を受ける3町村の議員

外ヶ浜中央病院医療提供体制等に関わる説明会

外ヶ浜町・今別町・蓬田村3議会議員合同

3月26日、外ヶ浜町議会・今別町議会・蓬田村議会の3議会議員を対象とした、外ヶ浜中央病院医療提供体制等に関わる説明会が、当町役場大会議室で開催されました。

説明会では、①令和7年度の医療提供体制等、②患者数の推移、③新病院建設・整備等に関する検討の3案件について当局より説明があり、参加した議員からは活発な質

問や意見が出されました。3町村議会は、今後も定期的に情報交換をし、連携を密にして取り組んでいくことを申し合わせをし、閉会しました。

令和6年度補正予算

1億3,599万2,000円を追加

1月28日、第155回臨時会が開催され、令和6年度一般会計補正予算案など2議案を原案のとおり可決しました。

質疑応答

一般会計補正予算

津軽線運休時の代替バス対応

問 戒修議員

JR津軽線が大雪などで運休となった場合、JRから町への連絡はあるのか。JR側で代替バスを出すという話はないのか。

答 企画政策課長

JRで運休を確定した後、町に連絡がきて、町から広報無線で町民に伝えるというのが今の流れ。代替交通については、計画運休の場合は出さないとのこと。

再質問

大雪があらかじめ分かっている場合に朝晩のバスを運行する考えはあるのか。

答

総務課長

JRから運休の連絡は急遽来るため、防災無線で運休のお知らせをしている。その日のうちにバスを準備して運行することができない現状。長期的な運休となった場合は平館、三厩両支所と連携しながら、青森までのバスの運行を検討したい。

物価高騰対策事業費の使い道は

問 山口佳子議員

物価高騰対策事業費から風のまちこども園の送迎バスを補助する考えはないか。

答 企画政策課長

今回の対象は交通事業を実施している事業者に対する補助金となるため、送迎バスの補助金対象外となるが、福祉サービスの中の一つとして対応を考えていく。



現在運行中の送迎バス
(風のまちこども園)

議事を傍聴しませんか

●6月定例会の開催予定

- 6月 6日(金) 開会、議案上程・説明
- 6月 7日(土) 休会
- 6月 8日(日) 休会
- 6月 9日(月) 一般質問
- 6月10日(火) 議案審議、閉会

※定例会の日程は、都合により変更になる場合があります。

議会活動

- 3月12日(水) 議会広報特別委員会
- 3月19日(水) 蟹田小学校・三厩小学校卒業証書授与式
- 3月26日(水) 外ヶ浜中央病院医療提供体制等に関わる説明会
- 3月27日(木) 外ヶ浜漁協通常総会
- 3月28日(金) 三厩漁協通常総会
- 4月 7日(月) 蟹田中学校入学式
- 4月11日(金) 議会広報特別委員会
- 4月18日(金) 全員協議会
- 4月23日(水) 議会広報特別委員会
- 5月12日(月) 東津軽郡町村議会議長会定期総会
- 5月27日(火) ~28日(水) 全国町村議会議長・副議長研修会
- 5月29日(木) 議会運営委員会(予定)
- 6月 3日(火) 青森県町村議会議長会臨時総会(予定)

各種メディアで注目されている地域密着型スーパー「(有)マツオスーパー」を
経営している代表・石岡明沙実さんにインタビューしました

私が盛り返したみたい
に、たびたび取材されま
すが、そうではありませ
ん。一人じゃ何もできま
せんから。「両親」と「風
乃まちプロジェクトメン
バー」の力強い協力が
あったので今があります。
売場面積を半分にし、あ
との半分を交流スペース
にする発想やイベントを
企画するなど本当に感謝
でいっぱいです。

「子育てとお店の両立を完璧に」と思っていた1年目は心が折れそうになった時もあります。お客さんも少なくなってきたいましたが、お客さんといっぱいおしゃべりすることで笑顔をもらい楽しくなりました。

外ヶ浜産の米粉で作ったパンに外ヶ浜産ホタテを挟んだオリジナルドツクで土・日曜日と休日に販売しています。おかげさまで好評です。お客さんはお年寄りが多いので健康を第一に考えた惣菜も店に並べたいと思っています。

てしやすい環境です。「風のまちこども園」や「小中学校」も相談しやすいし、一人ひとりの子どもを町のみんなで見てくれるのが伝わります。寛容でありキュッと締める所もある。遊びたければ山も海もある。給食費、医療費無料も大変助かります。こんな素晴らしい子育て環境の町はなかなかないと思います。この環境をPRしたいければ、子育て中の若い親は移住してくれそうないがします。減り続ける人口も少しでも食い止めることができると思います。

交流スペースには寄贈された約三千冊の本が、りんご箱に並んでおり、土・日曜日には野口珈琲店が出店します。くつろぎのひとときをお過ごしください。

編集後記

10年に一度の寒波と大雪により各地に被害をもたらし、冬から、駆け足で夏へと変わりゆく中、漁業・農業の作業も順調に進んでいる頃かと思えます。

近年、よく耳にする「何年に一度」と言われる気象状況や、様々な分野の人手不足など、働き方も多様な変化を求められるようになってきました。

議会だよりでは、DX化の観点から、AI文字起こしを使用しています。津軽弁特有の訛りによる誤変換に悪戦苦闘しながらも担当する部分を伝わり易くなるように要約し、イメージしやすい写真等を多く配置するようにして、みなさんが手に取りやすい広報誌を目指していきます。

横山 拓雄

三上 満